

津山市教育委員会通信

【津山市教育委員会】

〒708-8501 津山市山北520 東庁舎 2階

電話：0868-32-2112（教育総務課）

Eメール：kyouiku@city.tsuyama.lg.jp

教えて「しょくたん」！ 学校給食探検隊

毎日、子どもたちに届けている学校給食。
戸島と草加部の2つの食育センターで、一日約9,000食を作っています。

栄養、安全、美味しさの追求はもちろんのこと、食を通じた学びや、体験の場としての役割もあります。

津山市の学校給食について、少しだけ紹介します！

津山市食育推進キャラクター「しょくたん」。
津山市の花「桜」の茶碗をもったかっぱ（ごんご）です。



津山の給食の始まりは？

昭和22年にミルク給食として開始し、昭和32年から完全給食（主食、副食、牛乳）となりました。当時は野菜などの材料を、家庭から持ち寄って調理していたそうです。



市町村合併を機に、給食のなかった旧津山市内5中学校も、平成20年9月より、提供を開始
左写真は戸島学校食育センター

給食費について

食材と調理に使用するガス代を、給食費としていただいています。令和元年度は小学校が1食265円、中学校が305円となっています。

何人で作っているの？

戸島、草加部両センターとも、それぞれ約40名の調理員が毎日の給食を作っています。

献立の決め方は？

両センターの栄養教諭等（県費・市費）が、国が定める「学校給食摂取基準」に沿って、月ごとに決めていきます。

栄養面だけでなく、地産地消、郷土料理、行事食、世界の料理など、食の楽しみや経験、多様性、食育など様々な視点で組み立てています。

また、献立作成委員会を開催し、学校の先生や保護者等から、意見や要望をお聞きしています。

おかやま地産地消週間
献立例

- ・コッペパン
- ・牛乳
- ・津山産野菜たっぷりポトフ
- ・大豆サラダ



調理以外には？

栄養教諭等が小学校・中学校に赴き、子どもたちに栄養や給食指導、食育の授業を行っています。

その他にも、保育園、幼稚園、小学校や様々な団体の施設見学の受入れや、親子料理教室の実施など、食育拠点の一つとしての様々な取組みを行っています。

岡山県学校保健会津山支部研修会

岡山県学校保健会津山支部研修会を7月18日（木）津山歯科医療センターで開催し、市内幼小中学校（園）の学校医・学校歯科医・学校薬剤師・校（園）長・養護教諭等が参加しました。

岡山県美作保健所の「たばこからの健康影響普及講座」を活用し、「軽く考えていませんか？こどもの受動喫煙について」と題して、薬剤師 富永美香子先生に講演いただきました。今後も、受動喫煙による健康への影響についての普及啓発や禁煙教育を推進します。



研修会の様子

第37回夏休み親子料理教室

8月8日(木)、9日(金)の2日間、戸島学校食育センター2階の研修室で、市内小学生親子24組が参加し、夏休み親子料理教室を開催しました。

この料理教室は、作る楽しさを親子で体験してもらうことを目的に、昭和58年度から継続し、今年度で37回目を迎えました。

今回は「食品ロス」にスポットをあて、「ムダなくおいしくいただきます！～食材を使い切るテクニックを学ぼう～」と題し、野菜の種や皮からダシをとるなど、家庭で余りがちな食材を使った料理に挑戦しました。



そうめんde冷製カップリーニ風
揚げないカニクリームコロッケ
ハニーマスタードマリネ
ふわふわスープ
カップで簡単レアチーズケーキ



親子で楽しく
作れたね!



津山市食育推進
キャラクター
「しょくたん」



親子で楽しくcooking

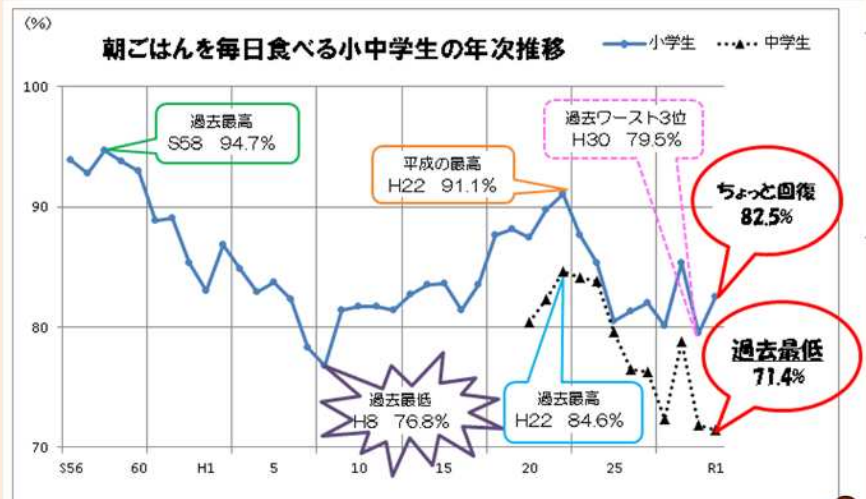
食品ロスについてのお話を聞く参加者

朝食摂取調査 & 夏休みレッツチャレンジクッキング！作品展示

昭和56年度から続けている「朝食摂取調査」を、今年も6月に実施しました。

右のグラフのように、変動はあるものの、「朝ごはんを毎日食べる小中学生」が減少している現在、子どもたちの未来が心配です。

「朝ごはんを食べる」習慣を身につけてもらいたいと願い、今年度は、「自分でできるよ朝ごはん」をテーマに、小学校5年生から中学校3年生までを対象に、夏休みに自分で料理を作る「レッツチャレンジクッキング！」に挑戦してもらいました。市内小中学校から寄せられた2,409名の作品を地域交流センター(アルネ4階)に展示しました。



「朝ごはん」は1日の元気の源！食べる習慣をつけてもらいたいです！

おいそな料理のレシピや写真が展示されています